

テーマ：心を騒がせるようなものが周りに溢れる中で、御言葉の知恵に頼って生きていく

○年老いた人物からの四つの知恵：

1. 主に信頼して忠実に歩むこと(1-11)

2. _____(12-20)

a) 正しく捉えるべき“全体像”(12-15)

※創世記 11:4-6

「そのうちに彼らは言うようになった。「さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。われわれが全地に散らされるといけないから。」そのとき主は人間の建てた町と塔をご覧になるために降りて来られた。主は仰せになった。「彼らがみな、一つの民、一つのことばで、このようなことをし始めたのなら、今や彼らがしようと思うことで、とどめられることはない。」

※詩篇 31:13

「私は多くの者のそしりを聞きました。「四方八方みな恐怖だ」と。彼らは私に逆らって相ともに集まったとき、私のいのちを取ろうと図りました。」

※使徒 7:54

「人々はこれを聞いて、はらわたが煮え返る思いで、ステパノに向かって歯ぎしりした。」

※ヨハネ 15:18-19

「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。」

※詩篇 2:4

「天の御座に着いている方は笑い、主はその者どもをあざけられる。」

b) “全体像”を捉えた者の歩み(16-20)

※詩篇 23:1

「主は私の羊飼ひ。私は、乏しいことはありません。」

※ピリピ 4:11-13

「乏しいからこう言うものではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にある道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」

※ピリピ 3:7-8

「しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。」

※ヘブル 13:5

「金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」